

公営路線バスの予約制導入（愛媛県上島町）

取組概要

- ・年々利用者数が減少している上島町が運営する路線バス(自家用有償旅客運送)の一部路線(弓削支線)について、予約制に切り替えることにより運行経費の削減を図るとともに事務の効率化を推進する。
- ・今後のさらなる高齢化や人口の減少を見据え、バスの予約制の実証運行を行うことで、将来的な運行形態の再構築と住民サービスの向上を目指す。

取組の効果

- ・予約がない場合にはバスを運行しないため、燃料費の削減による経営改善に繋がるとともに、利用実態に応じた効率的な運行を図ることができる。
- ・予約がない場合には、運転手が他の業務に従事することが可能となるため、事務職員の負担軽減などを含め、全体的な事務の効率化が図れる。
- ・予約制化による効果、影響や問題点等のデータを得ることができることから、将来的なバスの運行形態の検討時に有効活用することができる。

創意・工夫した点

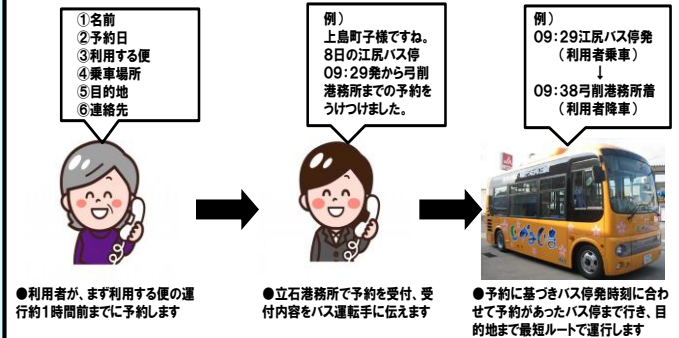
- ・利用者の予約をする手間が発生するため、ポイントカード制を導入した。
- ・立石港内の町営回漕店(生名フェリー)を受付先にすることで、年中無休での受付対応が可能となるとともに、予約受付にかかる経費や事務作業の負担を軽減した。
- ・予約伝達にLINEアプリを用いることで、予約伝達にかかる経費や手間を軽減した。また、LINEにより、予約の有無の情報をバス運転手、回漕店及び事務職員で共有することで、予約伝達ミスをなくすよう工夫した。

他団体へのアドバイス

- ・交通の抱える状況は、地域ごとに大きく異なるため、どのような方法が効率的で利便性が高いのかそれぞれの地域に合った仕組みを検討する必要がある。
- ・利用者の予約を行う事への抵抗が思いのほか強いことや、自分のためにわざわざ運行してもらうのは申し訳ないという気持ちが働くようなので、その他の事業においても、利用者目線に立った立案やシステムづくりを進めることが重要である。

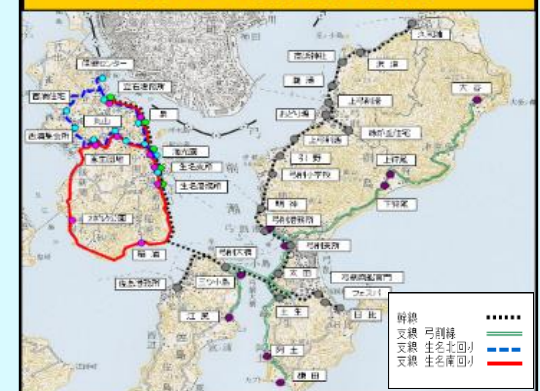
人口 6,760人(R2.1.1現在)
担当 公共交通課

★利用イメージ



利用イメージ

町有バス 路線図及び停留所



運行路線図